「FBマネジメント」社長

山田一歩（やまだかずほ）

日本初のファミリービジネス専門のコンサルティング・ベンチャー

1年前から毎日早朝散歩

ライフスタイルを変えるため

「5時に起床し、隅田川沿いを約1時間歩いています。遊びまわっていて、明け方に帰るのもしばしば。そのせいで事業に悪い影響が出てきて、社内の雰囲気も悪くなった。で、心を改めて、早起きして歩くように生活を変えました。明らかに事業にプラスに働いてます」

「FBマネジメント」は日本初のファミリービジネス専門のコンサルティング・ベンチャー。設立3年目だが、日本の企業の95％を占めるといわれる同族経営企業の経営指南で早くも実績を挙げている。

山田一歩社長は徳島県出身の35歳。

毎朝、5時から約1時間の早朝散歩に励んでいる。深夜まで遊びまわっていたのをやめてライフスタイルを変えるために朝早く歩き始めた。大相撲の大ファン。ひいきにしている力士は横綱・稀勢の里と大関に昇進した高安。カラオケは徳永英明の曲。

創業わずか3年で同族経営企業約60社の経営指南を手掛ける

創業してから1社目のクライアント、アプリやWebシステム開発の「テクノモバイル」播田誠社長（左）

行きつけの店「銀座　朱雀」で

会社　日本企業の95％を占めるといわれるファミリービジネス（同族経営企業）。社歴の長い企業が多いが、後継者難や経営悪化で廃業の危機にさらされているところが少なくない。そんな現状を打破すべく立ち上がったのが、日本初のファミリービジネス専門のコンサルティング・ベンチャー「ＦＢマネジメント」（2014年４月設立）。

「年商15億～30億円あたりの企業がターゲットです。創業30～50年の企業が多いですね。当社が創業してから今まで約60社のプロジェクトを手掛けました」（本人）

仕事の中身は、事業承継のタイミングで、後継者が継ぎたくなる事業の魅力づくり、基盤づくりのサポートだ。山田社長は成功例を紹介する。

「東北のある老舗食品メーカーは、国内市場が縮小する中、当社の支援により北米進出が成功し、北米市場ではナンバーワンのブランドになりました。当社は、机上で考えた理論重視のコンサルではなく、現場で実際に行ってきたマーケティング手法をノウハウ化し、それを実践で使える戦略として提案することを重視しています」

◀祖父母と。抱かれているのが本人（1～2歳）、その下は姉、隣はいとこ

経歴　1982年３月31日、銀行員だった仁氏（65歳）と千代さん（62歳）の長男（姉が１人）として徳島県に生まれる。35歳。

「母方の親、兄弟は全員経営者で、祖父は徳島市内でスーパーを数店舗持つ経営者でした。これが僕の会社を経営する原点になりました」

徳島市立津田小、同市立津田中、徳島市立高等学校理数科を経て名古屋市立大経済学部を卒業して日興コーディアル証券に入社。

「主に中小、中堅企業のオーナーに対する資産運用や資産管理などのビジネスを担当しました」

その後、大手コンサルティング会社で上場企業の資本政策立案、株主対策、Ｍ＆Ａ業務に従事し、14年４月「ＦＢマネジメント」を立ち上げた。

結婚――独身。

「去年、婚約したのですが、破談になりました。仕事が猛烈に忙しくて相手の気持ちを考えてあげられなかったことが原因でした。今は、日本初のファミリービジネス支援のプラットフォームをつくることに邁進しておりますが、早いタイミングで結婚はしたいです」

散歩――毎朝、5時に起床し、約1時間、散歩に励んでいる。

「早朝の散歩を始めたのは1年ぐらい前から。今住んでいる日本橋のマンションから新川に向かい、隅田川沿いを歩きながら佃大橋から見る景色に一日の活力をもらっています。一日一死の気持ちで、その日その日をやり切っているかを確認できる瞬間です」

早朝の散歩を始めたのは健康のためよりもライフスタイルを変えるのが狙いだった。

「実は1年半ぐらい前までは深夜まで遊びまわっていた。明け方に帰るのもしばしばでした。でもこういった生活を続けていると事業に悪い影響が出てきて顕著にそれがあらわれてきた。社内の雰囲気も悪くなりました。そのため、心を改めて事業に集中するようにしたのです」

それが「早朝散歩」という形になり、夜も12時までには就寝するようになった。

「早起きすることで圧倒的に事業のことを考える時間が増え、事業の方向性、会社の方向性が明確になりました」

大相撲ファン

ひいきは稀勢の里、高安。「近いうち2人に懸賞金を」

大相撲――かなりの相撲ファンで、東京で本場所がある時は国技館で観戦することも。

ひいきにしている力士は、横綱・稀勢の里と大関に昇進した高安。

「稀勢の里で感心するのは派手さはないが、自己管理能力があるんですね。イメージですが、夜遅くまで遊びまわるようなことはないと思います。同じ部屋の高安も兄弟子のその姿を見ているので、どう自分を律するのかわかっています。それにしても高安はすごい体をしてますよ」

近いうちに2人に懸賞金を出すことを考えているという。

好きなプロ野球チーム――高校の頃までは大の巨人ファンだったが……。

「今の巨人戦を見てもあまり面白くないですよね。なにがなんでも見たい選手がいない。かつては桑田、槙原、斎藤の3本柱に大リーグで活躍している上原がいた。打者は原、松井秀喜、高橋由伸などの強打者の姿を見て興奮したのを覚えています」

好きな歌――カラオケで必ず歌うのが徳永英明の「レイニーブルー」とロックバンドのT－BOLANの曲。

酒――好きだが、あまり強くなく、飲むのはコーラハイボール専門。

「ま、飲んでも1～2杯ですね。飲み仲間は同世代の経営者が多い」

釣り――2カ月に一度、逗子へ。

「逗子に友人がいるので海釣りに行きます。一日がかりのゴルフと違って釣りは正午すぎに帰ってこられるのがいいですね」

ゴルフ――キャリア10年。

「証券会社時代は毎日のように練習場に行き、200～300球打ってました。その次に入ったコンサルティング会社では仕事上、ゴルフをやる必要がなくなり（ゴルフから）遠ざかりました」

現在は月1、2回コースに出る。

「あまりうまくないです。スコアは100から110の間です」

好きなテレビ番組――ニュースぐらい。

「もともと、テレビを見る習慣がないんです。食事はほとんど外食だし、あまり家にいませんから、アッハッハ」

行きつけの店――日本料理の「銀座　朱雀」。

「鯛茶漬けが絶品。客層もいいです」

好きな食べ物――「大好物は寿司か天ぷら」

読書――「京セラの稲盛和夫さんやホンダの本田宗一郎さん、ユニクロの柳井正さんなど、創業者の自伝を読むのが好き」

購読紙――日経、NYタイムズ。

血液型――A型。

体格――身長171㌢、体重78㌔。

信条――「諦めるまで失敗はない」

次回は「ハイネケン・キリン」マータイン・ファン・クーレン社長